



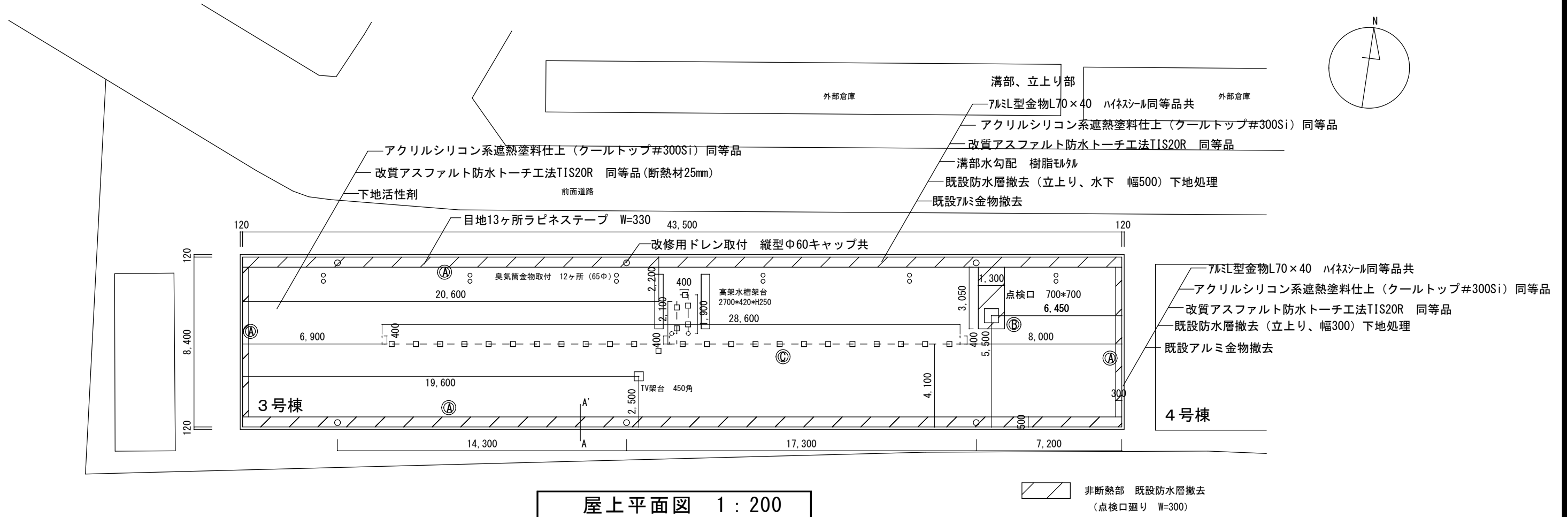
⑤ 配管工事

- b. ステンレス鋼管継手の種類  
 ・S4以上・J5以上  
 ・突合せ溶接式（ただし、工場加工に限定する） ・ハウジング形管継手  
 ・フランジ（・ルーズフランジ ・管端つば出し）

⑥ 給排水衛生設備工事の保温

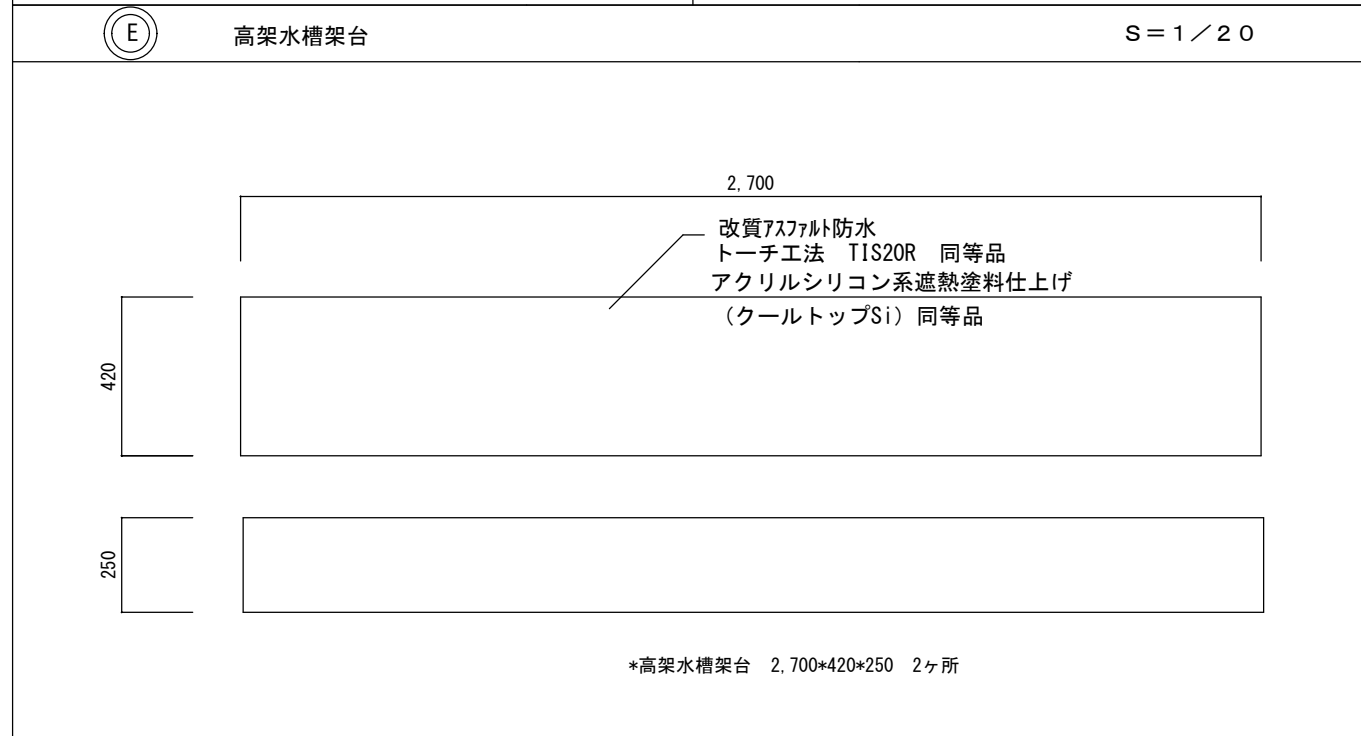
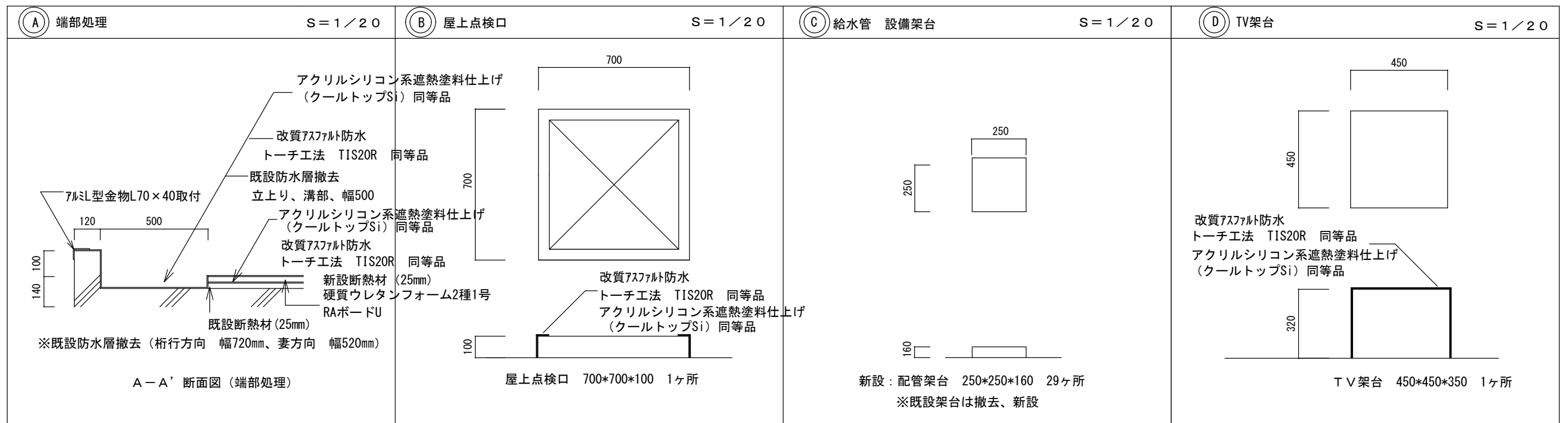
- a. 共同溝の保温種別  
 ※屋外露出仕様  
 ・屋内露出仕様  
 共同溝内の排水管の保温の有無 ※なし ・あり
- b. 機器の保温範囲  
 次の機器は保温を行う。  
 ・ポンプ（ ）  
 ・屋外設置のポンプ
- d. 管等の保温範囲留意事項〔付加〕  
 下記の配管・弁・フランジは、保温を行う。  
 1) 給水管及び排水管等が防火区画を貫通する部分は、ロックウール保温材で充填する。  
 2) 通気管、排気管で屋外開口部から2mの範囲は保温する。  
 3) 各種タンク類のドレン管の屋外充水部及び充水部以降100mまでの範囲は保温する。  
 4) 屋外の給水用配管でポンプ周りの防振継手、フレキシブルジョイント等は保温する。  
 なお、寒冷地仕様（適用は特記による）では、下記を追加する。  
 5) 連結送水管・連結散水配管で充水式の場合の屋外露出部分は保温する。  
 6) 屋内消火栓・屋外消火栓・補助散水栓配管の屋外露出部分は保温する。  
 7) ガレージ、ピロティ等のスプリンクラー消火・泡消火配管は保温を行う。（不凍液を使用する場合、又は乾式、開放型の場合は保温を行わない。）  
 8) 寒冷地にかかわらず駐車場出入口10m以内、ピロティ等に設置のスプリンクラー消火・泡消火配管のスプリンクラーヘッド巻出し配管、枝配管部分は保温を行う。
- e. 多湿箇所及び暗渠  
 多湿箇所及び暗渠の指定は、「3.1.4 空調設備工事の保温」と同じ
- f. 保温材  
 ・ロックウール（防火区画貫通部） ○グラスウール（屋内）  
 ・ポリスチレンフォーム（屋外、多湿箇所（ただし70℃以下の部分））
- g. 機器の保温外装  
 ・耐候性樹脂 ・溶融アルミニウム-亜鉛鉄板（ガルバリウム鋼板）  
 ○ステンレス鋼板 ・上部歩行形 ・下面塞ぎ板付き

Blank grid area for drawing or notes.



屋上防水改修工事仕上表					
記号	部位	既存/改修	内容	その他	
①	屋上 (平部、端部、立上り部)	既存	下地：PCパネル 仕上：断熱材厚25mm、改質アスファルト防水		
		改修	平場	下地：高圧洗浄、下地活性化剤塗布 仕上：改質アスファルト防水 トーチ工法 同等品 (TIS20R 断熱25mm)、遮熱塗料仕上げ(クールトップ#300Si) 同等品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臭気筒(SUS製 φ60) 12箇所</li> <li>・改修用ドレン(鉛製タテ型 φ60) 補強張り・アルミ製キャップ共 6箇所</li> <li>・アルミ製金物取付(端部 L型70) 103m</li> <li>・溝部水勾配調整(樹脂モルタル塗り)、目地材(ラビネステープ300mm)</li> </ul>
			立上り 溝 基礎	下地：既存溝部撤去(500mm)、押え金物撤去、高圧洗浄、下地活性化剤塗布 仕上：改質アスファルト防水 トーチ工法 同等品 (TIS20R)、遮熱塗料仕上げ(クールトップ#300Si) 同等品	
<p>&lt;特記事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に先立ち地元及び住民への周知を行うこと。</li> <li>・防水工事に先立ち給水管のラッキング及び配管架台を撤去、仮支持を行い、防水完了後に新設のラッキング及び架台を設置する。</li> <li>・材料荷揚げ時の、安全対策(交通誘導員など)に配慮すること。</li> <li>・屋上からの飛散防止、騒音等の環境に配慮すること。</li> </ul>					

名称	上之丘団地3号棟屋上防水改修工事	課長	係長	設計	A03	伊賀市役所 建設部建築課
図面名称	配置図・屋根伏図	縮尺	S=1:200			



- (架台)
- ③アクリルシリコン系遮熱塗料仕上(クールトップ#300Si) 同等品
  - ②改質アスファルト防水トーチ工法TIS20R 同等品
  - ①既設防水層撤去(立上り・天端)